

第 2 学 年 地理歴史科（地理B） 学 習 指 導 案

指導者：やまぐち総合教育支援センター
職氏名 研究指導主事 平林 徹

1. 単元名 「世界の都市と村落」

2. 単元目標

◇ 《情意面》

世界の都市・村落に対する関心と課題意識を高め、それらを系統地理的に追究する学習に意欲的に取り組み、都市・村落に関する多様性や地域性をとらえる視点や方法を身に付けようとしている。

◇ 《知識・理解、技能面》

世界の都市・村落に対する関する多様性や地域性を大観するとともに、世界の都市・村落を系統地理的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身に付けている。

3. 単元設定の意図

○ 《教材観》

本単元は、世界の都市・農村に関する事象を取り上げ、その分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の居住・都市問題を大観させることを主なねらいとしている。実際に簡単な分布図を作成し、都市の分布を考察するといった学習活動を仕組むことで、系統地理的にとらえる視点や方法を身に付けさせたい。この指導案では、広島市を事例として、都市の立地と機能を人々の生活や産業に関連づけて考察することを主眼に作成した。

○ 《指導観》

そこで、指導に当たっては、次のような工夫をする。

- ・実際に工場、郵便局などの公共性の強い施設や寺の分布図を作成させることで、各施設の分布の違いや寺の分布の不思議さに気付かせ、課題を主体的に追究させる。
- ・「ランク付け」の手法を用いることで、課題を主体的に追究させる。
- ・系統地理の特性を生かし、思考・判断・表現に重点をおいた授業を展開する。
- ・授業で学習したことを活用することによって、思考を深めさせる。
- ・身に付けさせたい概念的知識を明確にする。
- ・グループ活動を通して、合意を形成する能力を育てる。

4. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・村落の分布と動向に対する関心と課題意識が高まっている。 ・都市・村落の分布について系統地理的に追究する学習に意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・村落に関する地理的事象を基にして適切な課題を設定している。 ・それらの課題を系統地理的に追究している。 ・都市・村落の多様性や地域性を世界的視点から 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・村落に関する地図や文書などの資料を収集している。 ・都市・農村の分布について追究し考察した結果について発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・村落の分布と動向を理解し、その知識を身に付けている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・村落の多様性や地域性を世界的視点から捉える視点や方法を身に付けようとしている。 	捉える視点や方法を考察している。		
学習活動における具体の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①都市・村落の分布と動向に対する関心と課題意識が高まっている。 ②都市・村落の分布について系統地理的に追究する学習に意欲的に取り組んでいる。 ③都市問題の多様性や地域性を世界的視点から捉える視点や方法を身に付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①都市の発達に着目して適切な課題を設定している。 ②都市の施設の分布に着目して適切な課題を設定している。 ③都市問題に着目して適切な課題を設定している。 ④それぞれの課題を系統地理的に追究している。 ⑤都市問題の多様性や地域性を世界的視点から捉える視点や方法を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①都市に関する地図や文書などの資料を収集している。 ②都市の発達・分布・問題について追究し考察した結果について発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①都市の発展過程を理解し、その知識を身に付けている。 ②都市機能の違いについて理解し、その知識を身に付けている。 ③都市における様々な施設の立地の違いについて理解し、その知識を身に付けている。 ④発展途上国の都市問題を理解し、その知識を身に付けている。 ⑤先進国の都市問題を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表 ・ワークシートの記述 ・ペーパーテスト 			

5. 学習計画(指導と評価計画)

	学習内容・学習活動	評価基準				評価方法
		関	思	技	知	
1	都市の発展 ・都市はどのように発展してきたか、考察する。 ・都市機能の違いについて理解する。 ・地形図から都市の発展の様子を読み取る。		① ④	②	①	ペーパーテスト ペーパーテスト ワークシート
2 本時	都市の内部構造 ・都市における様々な施設の立地の違いについて考察する。	① ②	② ④	②	③	ペーパーテスト 生徒の発表
3	都市問題と再開 ・発展途上国の都市問題を理解し、その対策を考察する。 ・先進国の都市問題を理解し、その対策を考察する。 ・発展途上国と先進国との都市問題の違いや対策の違いを比較・関連づけて考察する。		③ ④ ③ ④	② ② ②	④ ⑤	ペーパーテスト ペーパーテスト ペーパーテスト

6. 本時案

(1) 主眼・ねらい

既習の知識を活用して、「なぜ工場は海沿いに立地するのか」「寺はどのように立地しているか、その理由は何か」の問いについて、多面的・多角的に考察し、筋道たてて説明することができるようになる。

(2) 準備物

地形図、ワークシート、P C、プロジェクタ、実物投影機

(3) 学習過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
<p>1 導入</p> <p>(1) 広島市の2万5千分の1地形図から、広島市の大まかな様子をつかむ。</p> <p>2 展開1</p> <p>(1) 工場はどこにあるのか予想し、地図上で確認する。</p>	<p>・川が多い・広島城がある</p> <p>・平和公園があるなど</p> <p>・海沿いにある・大きな道路沿いにあるなど</p>	<p>○地形図を一人に一枚配付する。</p> <p>☆P C・プロジェクタを使い、広島市の空中写真を見せる。</p> <p>○色鉛筆で工場の敷地を塗り、確認させる。</p> <p>○複数の施設の色を塗ることを伝えておく。</p>
<p>Q 1 なぜ工場は海沿いに立地するのか、考えよう。</p>		

<p>(2) 各自で理由を考え、クラスで発表する。</p> <p>(3) 出てきた理由に重要なものから、グループで話し合い、順位をつける。</p> <p>(4) クラス全体で、班から出された順位を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出入に便利・水が得やすい ・環境を考えて ・広い敷地が必要など様々な答えがでる。 ・自分の考えを、伝え合い、修正することで高めていく。 ・A班の意見は納得できるが、B班は納得できないなど。 	<p>○理由を五つに絞る。</p>
<p>獲得させたい概念的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産機能は、生産費(コスト)を最小限に抑えることをめざす。(輸送費をカットするため、関連工場は集積する→集積するために広い敷地が必要→埋め立て地に立地) 		
<p>3 展開2</p> <p>(1) 郵便局はどこにあるのか予想し、地図上で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人が多いところなど(60ヶ所あり、ほぼ均等に分布) 	<p>○色鉛筆で郵便局の地図記号を塗り、確認させる。</p>
<p>Q2 なぜ郵便局は均等に分布するのか、考えよう。</p>		
<p>(2) 各自で理由を考え、クラスで発表する。</p> <p>(3) 郵便局と同じように分布する施設を、地図から三つ探す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便物を持って行きやすい ・郵便局の集配に便利 ・小・中学校、消防署、病院、警察署、駅など 	<p>○色鉛筆でそれぞれの地図記号を塗らせる。(活用)子ども同士で見せ合わせる。</p>
<p>獲得させたい概念的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス機能は、使用者の利便性を考え、均等に分布する。 		
<p>4 展開3</p> <p>MQ 寺はどのように立地しているか、その理由は何か、考えよう。</p>		<p>○オープンエンドにする。(探究)</p> <p>○課題で、調べ考えてくる。(中学校では、班活動で調べ、考えさせる)</p>
<p>(1) クラスで、理由を発表し合う。</p> <p>(2) 出された理由をクラス全体で検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを、伝え合い、修正することで高めていく。 	<p>○根拠をあげて、批判できるようにする。</p>
<p>獲得させたい概念的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町は、機能によって施設が集積している。(寺は城の防衛) 		

<p>5 まとめ (1) 授業でやったこと以外のことも考える。</p>		<p>○他の施設は？農村では？県では？など視点を変えて考えさせる。</p>
<p>獲得させたい概念的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設によって、立地の仕方は異なる。 ・スケールによって、立地の仕方は変わってくる。 		